

# 思いやりの心を育てよう

## 日野町まちづくり町民会議



任期も残りわずか。白熱した議論が続く

これからのまちのあり方や

まちづくりなどについて話し合う、

第11回日野町まちづくり町民会議（松本豊文委員長）が

9月25日、町役場で開かれ、

委員16人が出席しました。

今回も、3つの班に分かれて討議が行われました。

### テレビを消して家族のかかわりを A班の討議内容（主なもの）

メディアとのかかわり

- ・乳幼児から大人まで、テレビ、ゲームなどどっぷりメディアに浸かっており、思いやりの心などが失われつつあると思う。それがすべて悪いわけではないが、町とつしよに考えたい。
- ・住民が主体になって推進する場作りを。いろんな年代層、いろんな場で「思いやりの心を育てる」ことを考えていきたい。
- ・テレビを見るなど言っても、もつと興味を持てることがなければ、単なるメディア抑制論になってしまう。
- ・その日はテレビを見ない「ノーテレビデー」の取り組みなどを、町をあげて提言してみたらどうか。
- ・一斉にノーテレビデーとかいうものではなく、本来は家族で話し合っていくべきだ。
- ・独居高齢者などはテレビがコミュニケーションの場であり、一概に「テレビを消しましょう」とは言えない。
- ・こういう話題になるとメディアを悪者にしてそれでおしまいということになり

がち。要はメディアがどうこうということではなくて、どうしたいかということなので。

今後のまちづくり会議は

- ・委員の任期もまもなく終わるが、今後はどうするのか。
- ・委員になりたい人に手を上げてもらってはどうか。
- ・議員や農業委員など、選挙による公職者は委員にならないという、この会の最初の委員構成がよくなかった。次回はもつと委員構成を考えてほしい。
- ・自治会から一人ずつ出してもらおうのほうか。
- ・あり方を変えたほうがよいかもれない。この場では地域の代表ということではないはず。
- ・この会議は、自治会の要望をする会ではなく、本来は町の施策に対して提言するという目的であったと思う。
- ・町政をどうするかではなく、住民一人一人にどう動いていただくのかということがまちづくり会議の課題であると思う。

## いくつになっても生き生きと暮らせるために

### B班の討議内容(主なもの)

元気な高齢者づくり

- ・ぼかばか教室などに出てもらって元気になれるよう声かけをしているが出席者が少ない。高齢者の居場所を作っても、人と話をするより畑の草を抜いていたほうがいいという人もいるので、無理に参加者を増やす必要はないかもしれない。
- ・ぼかばか教室も、長く続けていくためには苦痛にならないようにする必要がある。参加者のアンケートを取ったりして今後の参考にしていけば。
- ・夫が参加しており、いろいろな種目をみんなで楽しめたと話していた。ひと言感想を広報に載せてみたら、どんなことをしているのかわかっている。
- ・昔は宮こもりで食べ物を持ち寄って集まっていた。今から思えば、あれがストレス解消だったのかな。

地域の高齢者を守るために

- ・地元の防災マップを作ろうとしたが、詳しく作ろうとする個人情報の関係でいろいろ問題が出て、途中でやめたことがある。寝たきりの高齢者など、災害時に家の中の部屋で寝ているか把握できていたら助けることができた事例もある。
- ・近所づきあいのある家は寝ている場所くらいはわかる。一人暮らしの人は付き合いのある人を作っている場合がある。その人がいなければよいが、その人がいなければわからない。体制作りが必要。

高齢者向け配食サービス

- ・最近、業者が高齢者向けの弁当の宅配をはじめた。社会福祉協議会でもしているが、高齢化でなかなか難しくなってきた。
- ・大夢多夢でも弁当を毎週作っている。
- ・今は、高齢者の食事を高齢者が作っている。高齢者の食事が確保できるなら業者が入っていくこともよいと思う。

## ごみ収集など、身近な環境に関心を

### C班の討議内容(主なもの)

グラウンドの芝生化

- ・米子市や境港市、伯耆町では、行政の協力を得て芝生化を進めているところがある。
- ・津地の町営グラウンドも芝生化を考えてほしい。有料なので使いにくく、草が生えて荒れ放題だ。
- ・町も、活用できないところは売り払うなど発想を変えるべき。管理が難しいなら安くても売ってしまうほうがいい。
- ・利用料を無料にしてみたい。

が使用えば草が生えない。使わなければグラウンドの意味がない。町の財産がむだになっている。規制をやめて有効活用できるように視点を変えてほしい。

ごみ収集のステーション化

- ・可燃ごみの置き場所を定めるステーション方式のごみ収集について、ステーションの場所を町に提供してほしいという要請を上げていきたい。
- ・日南町では、まち部の要所要所、適当な所にステーションが設置してある。
- ・消火栓の場所ですら個人から提供してもらうのは難しい。
- ・ステーションができてしまえば、においもしないし鳥獣の害もないだろうが、やはり実現は難しいのか。
- ・自分の地区では、個人でステーションを手作りされており、みんな使わせてもらっている。

町の駐車場の一部などを場所に提供してもらえれば。

- ・宝くじのコミュニケーション助成事業でステーション設置ができないか。

今後の会議について

- ・実行委員会はあったほうがいいと思う。数人の実行委員で小学校や保育所に出かけて町民体育祭の合同開催やグラウンドの芝生化などの話をしてみよう。どこに問題があるのかを聞いてみるのも大事。結果だめならだめでもいい。
- ・実行委員会はテーマごとに分けて作ってほしい。

次回の会議は、11月20日(木)に開かれる予定です